

青山治郎教授 経歴及び著述等目録



経歴

昭和八年五月二日 北海道小樽市稲穂町に生まれる。
昭和二七年三月 神奈川県立横須賀高等学校卒業。
昭和三三年三月 明治大学文学部史学地理学科卒業。
昭和三五年三月 明治大学大学院文学研究科史学専攻修士課程を修了。文学修士の学位を授与される。

昭和三七年四月 明治大学附属明治高等学校講師を嘱託される（昭和三九年三月まで）。

昭和三八年三月 明治大学大学院文学研究科史学専攻博士課程を単位取得満期退学。

昭和三九年四月 保善高等学校教諭に就任。

昭和四七年四月 明治大学文学部兼任講師を嘱託される（昭和五七年三月まで）。

昭和五七年三月 保善高等学校を依願退職。

昭和五七年四月 札幌大学女子短期大学部に新設された文化学科の教授に就任。

平成九年四月 札幌大学文化学部（新設）の教授となる。

平成一三年四月 札幌大学大学院文化学研究科（新設）の教授を兼任。

平成一六年三月 札幌大学文化学部を定年退職。

平成一六年四月 札幌大学名誉教授の称号を授与される。

所属学会

駿台史学会

東方学会

東洋史研究会

著述等目録

(一) 著書

明代京営史研究

響文社

平成八・四

(二) 論文

朱呉国翼元帥府考

駿台史学第一三三号

昭和三八・三

元末動乱と一漢人軍官の生涯——江浙行省参政石抹宜孫について——

明治大学大学院紀要第一冊

昭和三九・三

- 明代景泰朝の団營について 駿台史学第二四号 昭和四四・三
- 明初における京營の形成について 東方学第四二輯 昭和四六・八
- 明代嘉靖朝の京營について 駿台史学第四九号 昭和五五・三
- 明代隆慶朝の京營について 札幌大学女子短期大学部紀要第一号 昭和五八・二
- 明代の京營についての一考察——嘉靖新三大營内における三十小營の形成について—— 『山根幸夫教授退休記念明代史論叢』 汲古書院 平成二・三
- 後金国の興起と明の京營——特に薩爾滸の戦いの前後を中心にして—— 『清朝と東アジア 神田信夫先生古稀記念論集』 山川出版社 平成四・三
- 明代成化朝の団營について 『地域・情報・文化 札幌大学女子短期大学部創立二五周年記念論文集』 響文社 平成五・三
- 明代成化朝後半期の京營について 『地域・情報・文化（続） 札幌大学女子短期大学部論文集』 響文社 平成七・三
- 明代万曆朝における京營組織の変遷について——特に選鋒の設立と増強を中心として—— 札幌大学女子短期大学部紀要第二六号 平成七・九
- 明代正徳朝の京營について——特に所謂東西官庁軍の実態について—— 駿台史学第九八号 平成八・九
- 明代天啓朝前半期の京營について 明大アジア史論集第六号 平成一三・三

(三) 書 評

吳 晗著『灯下集』

王毓銓著『明代的軍屯』

駿台史学第一一八号

駿台史学第一八号

昭和三六・三

昭和四一・三